

甲賀市少年センターだより

第1号



甲賀市水口町本丸 1-20 みなくるプラザ内

TEL 0748-62-6010

FAX 0748-63-3977

メール k-syonen@city.koka.lg.jp



R8.4月発行

みなくるプラザから眺める城山(古城山)に桜色の木々が見え隠れしています。春の暖かな風によって新年度が始まりました。平素は少年補導(委)員の活動及び甲賀市少年センターの運営に際しまして、ご支援・ご協力をいただきありがとうございます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



少年センター・少年補導(委)員

少年センターは、青少年の非行を防止し、健全な育成を図るために設置されたセンターです。

また、甲賀市少年補導(委)員会は地域の子どものための非行防止と健全育成を支えるため、甲賀警察署長と甲賀市教育委員会から委嘱されたボランティアで、79名の補導(委)員で構成されています。

甲賀市少年センター 少年補導(委)員会の主な活動

街頭補導活動

- ・補導(委)員と少年センター及び甲賀警察署と連携した健全育成と非行防止のための合同街頭補導
- ・通学路見守りや挨拶運動

広報啓発活動

- ・市内小学校6年生に薬物乱用防止教室開催
- ・啓発用しおりなどの作成
- ・少年センターだよりの発行
- ・地域放送(あいコムこうか)での情報発信

連携と研修活動

- ・補導(委)員のスキルアップのための関係機関訪問研修や講習会参加
- ・関係機関や関係団体との連携(情報交換及び連絡調整)

環境浄化活動

- ・有害な図書・DVDなどの取扱店の販売状況を確認
- ・携帯や刃物玩具店などへ有害環境から青少年を守るための指導

相談活動

- ・青少年や保護者からの悩みや困りごと相談に応じる
- ・状況改善までの継続面接や家庭訪問
- ・学校や関係機関との連携



補導(委)員は子どもたちを見守り、問題行動の芽を早期に発見し、必要に応じて声をかけたり、学校を訪問し薬物乱用防止教室などを行ったりしています。地域の補導(委)員の方に地域の子どものことで心配なことがありましたらお伝えください。

少年センターは、『子どもたちが健全な生活を送れるよう支援する場所』です。そのため、家庭環境、孤立、ストレスなど子どもが抱える背景を理解し、改善につながる支援をしています。家庭や学校での困りごとがある場合、早めに相談することで大きなトラブルを防げることもあります。問題行動が起きたときだけでなく、「ちょっと気になる」「誰に相談したらいいかわからない」という

段階でも利用できますので、ご相談ください。

昨今、子どもたちを取り巻く環境は大変厳しい状況に変化しており、子どもたちの様子も変わりつつあります。大人の見守りの目と温かい声かけが、何よりの健全育成・被害防止につながります。引き続き、子どもたちが安心安全な地域社会で健やかに成長できるよう少年補導(委)員のみなさまと共によりよい環境づくりをめざしてまいります。今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和8年度 甲賀市少年補導(委)員のみなさま (敬称略)

任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

水口	池本 壽志	岡村 美鶴	北村 正之	草間 行雄	黒川 廣幸
	黒田 義則	佐伯 千代	坂本 正太郎	杉本 義一	瀬野 滋乃
	宝本 正樹	竹中 修	出口 雅之	中西 きよみ	西村 智明
	西村 久	林田 一子	藤井 照代	藤村 和之	宮城 善美
	宮治 一八	山田 長則	山本 敬次	吉田 泰啓	
土山	石岡 朋子	市井 妙子	井上 勝	坂本 晴美	竹嵩 理
	土山 定信	日比 由美	前田 恵子	前田 武広	丸山 謙次
	山下 英隆				
甲賀	東 斐彦	小川 浩美	河合 鉄久	川村 文江	瀬古 祐嗣
	瀬戸 加世	中井 徳昭	中本 博之	平田 昌規	藤江 慎二
	森田 秀次	山下 京子			
甲南	網 千鶴子	奥村 享子	神田 剛史	北浦 紀道	木村 圭一
	杉庄 裕章	竹若 能子	谷 聡之	中井 紀子	中野 照子
	西宮 貴美江	西森 宏	橋本 達也	山崎 吉未	山本 紀代子
	山本 利次	吉澤 明彦	渡邊 淳史		
信楽	植田 英朗	宇田 康介	大谷 真五	奥村 弘道	神山 智
	高岩 眞介	高本 和昇	谷 弘樹	中井 れい子	中西 一詞
	吹田 聖介	福山 博士	藤原 也之亮	宮川 憲和	

役員 の 皆 様	会長：中井 徳昭 副会長：前田 武広 中井 れい子
	監事：宮治 一八 網 千鶴子
	水口地区幹事：宮治 一八 土山地区幹事：市井 妙子
	甲賀地区幹事：小川 浩美 甲南地区幹事：網 千鶴子
	信楽地区幹事：中西 一詞 (敬称略)

**困ったときは
ひとりで悩まないで 気軽にお電話を！
秘密厳守・無料**

交友関係、生活、いじめ、家族、学業、不登校、就労など

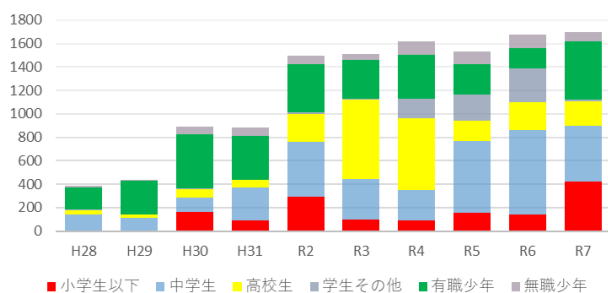
相談日：平日のみ(9時00分～16時00分)

年末年始、土、日、祝日は休み

(0748) 62-6010 k-syonen@city.koka.lg.jp



相談件数



令和7年度 甲賀市少年センター相談受理状況

R7年4月～R8年3月末まで

相談延べ件数	R7年度 3月末	R6年度 3月末	相談手段	R7年度 3月末	R6年度 3月末
	1780	1679		面談等	476
			電話	944	983
			メール等	280	246

非行相談内容	R7年度 3月末	R6年度 3月末	非行相談以外 内容	R7年度 3月末	R6年度 3月末
	盗癖・窃盗	45		43	不登校
暴力行為(傷害・暴行)	41	50	学校・学業	55	78
校内暴力	44	50	就職・仕事	23	20
家庭内暴力	24	32	家庭	13	22
たかり・恐喝	5	3	しつけ・生活	1146	959
薬物乱用	1	0	交友	61	133
飲酒	0	0	性	32	7
喫煙	8	3	発達障害	2	3
家出	7	4	心の病	36	11
無断外泊	0	14	性格	0	0
深夜はいかい	10	2	健康・身体	40	2
金銭乱費・金品持出	66	54	いじめ	42	65
道交法違反(暴走行為)	10	13	虐待	10	8
怠学	0	1	有害環境	11	16
小計	261	269	その他	16	4
			小計	1519	1410

相談者内訳	R7年度 3月末	R6年度 3月末	相談対象 少年内訳	R7年度 3月末	R6年度 3月末
	本人	279		256	小学生以下
家庭	676	689	中学生	506	722
学校	393	377	高校生	214	236
職場	11	4	学生その他	14	289
警察	43	22	有職少年	524	176
他機関	333	284	無職少年	82	116
その他	45	47			



令和7年度 相談活動について

令和7年度の相談件数は1,780件で、上記のグラフの通り年々増加しており過去10年で最多になっています。対象少年別では小・中学生の相談は全体の約半分を占め、特に小学生相談が前年度の約3倍になり問題行動が低年齢化しています。また、中学生の中には地域の大型量販店などで迷惑行為を繰り返したり、夜間に卒業生と接触したりして問題行動を起こす事案が目立つようになり、規範意識の希薄化を懸念しているところです。高校生に関する相談も増加傾向にあり、入学しても学校に馴染めず体調を崩したり、学業に専念できず退学をしたりするケースが見られました。

相談内容の特徴としてはSNSがらみの問題が多く、被害や犯罪にまで及んでいることもありました。インターネットの急激な発展が子どもたちの成長に大きな影響を及ぼしていることが伺えます。また、コロナ禍前に子どもたちがコンビニエンスストア前や大型量販店の駐車場をたまり場として時間を過ごしていた状況が再び見られるようになりました。そのため警察との連携を必要とする案件も増加してきました。

昨今のSNSの普及は大人との接触が容易にできるようになり、保護者が知らないところで子どもが被害者になったり加害者になったりしている問題もあります。特に性に関する問題の相談が昨年度比の5倍以上になっていることから、性に関する教育はもちろん人権・命に関する指導を適切な時期に正しい内容で指導する必要性を特に感じた1年でした。文科省からも「生命を大切にすること、一人ひとりを尊重する態度などを発達段階に応じて身に付けること」を目指す「**生命(いのち)の安全教育**」の取り組みを推進しています。子どもたちにとって**性教育を含む自他の命の安全教育と規範意識の醸成の必要性を強く感じています。**